

第9期 第3四半期報告書

(平成15年1月1日から平成15年3月31日まで)



平成15年4月15日

株式会社 旅籠屋

会社名(定款上の商号)	株式会社 旅籠屋
英文名(英文商号)	Hatagoya & Company
証券コード番号	4807
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿3丁目3番4号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

四半期の業績

(1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 前年度 第3四半期 H14.1.1～ H14.3.31	前年度 第4四半期 H14.4.1～ H14.6.30	今年度 第1四半期 H14.7.1～ H14.9.30	今年度 第2四半期 H14.10.1～ H14.12.31	今年度 第3四半期 H15.1.1～ H15.3.31	今年度 累計 H14.7.1～ H15.3.31	前年 同期比 (注2)	前年度 同期累計 H13.7.1～ H14.3.31
営業収益								
売上高	33,044	33,036	61,739	38,001	39,670	139,411	+ 32.2%	110,702
営業費用								
売上原価	28,851	32,525	38,685	39,237	35,296	113,219	+ 25.3%	92,769
販売費及び一般管理費	9,249	10,651	9,765	8,816	9,577	28,159	11.4%	32,447
営業損益	5,056	10,140	13,288	10,052	5,203	1,967		14,514
営業外収益	7	39	5	229	708	942		474
営業外費用	2,262	2,584	1,739	1,642	1,482	4,864		6,784
経常損益	7,311	12,685	11,554	11,465	5,977	5,889		20,824
特別利益	-	-	-	-	-	-		-
特別損失	-	-	-	-	-	-		-
税引前四半期(当期)損益	7,311	12,685	11,554	11,465	5,977	5,889		20,824
法人税、住民税及び事業税	-	932	-	-	-	-		160
四半期(当期)損益	7,311	13,617	11,554	11,465	5,977	5,889		20,984
前四半期繰越損益	116,947	124,258	137,875	126,321	137,787	137,875		103,273
四半期(当期)未処分損益	124,258	137,875	126,321	137,787	143,764	143,764		124,258

期中平均発行済株式総数	5,620 株	5,620 株	5,620 株	5,620 株	5,620 株	5,620 株	-	5,620 株
1株当たり当期損益	1,300 円	2,422 円	2,056 円	2,040 円	1,063 円	1,047 円	-	3,733 円
潜在株式調整後	-	-	1,910 円	-	-	-	-	-
1株当たり当期損益(注1)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注1) 潜在株式調整後の1株あたりの当期損益は、最終損益が損失となるため記載を省略しております。

(注2) 当期より消費税等については税抜処理に会計方針を変更しているため、補正した上での比率を算出しております。

(2) 部門別売上高 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 前年度 第3四半期 H14.1.1～ H14.3.31	前年度 第4四半期 H14.4.1～ H14.6.30	今年度 第1四半期 H14.7.1～ H14.9.30	今年度 第2四半期 H14.10.1～ H14.12.31	今年度 第3四半期 H15.1.1～ H15.3.31	今年度 累計 H14.7.1～ H15.3.31	前年 同期比 (注)	前年度 累計 H13.7.1～ H14.3.31
本社	2,371	376	479	354	411	1,246	62.7%	3,418
鬼怒川店	7,123	8,033	14,538	8,790	8,104	31,433	+ 3.4%	31,776
那須店	4,895	5,568	10,113	4,886	4,458	19,458	1.3%	20,691
秋田六郷店	2,423	3,482	5,483	3,302	2,772	11,557	2.2%	12,407
山中湖店	5,221	5,599	11,501	7,044	7,851	26,398	+ 54.9%	17,889
沼田店	6,904	5,557	7,854	6,810	7,389	22,054	+ 30.2%	17,782
水戸大洗店	4,103	4,419	8,618	4,761	6,140	19,520	+ 204.3%	6,736
北上店	-	-	3,150	2,051	2,541	7,743	-	-
合計	33,044	33,036	61,739	38,001	39,670	139,411	+ 32.2%	110,702

(注) 当期より消費税等については税抜処理に会計方針を変更しているため、補正した上での比率を算出しております。

(3) 部門別経常損益 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 前年度 第3四半期 H14.1.1～ H14.3.31	前年度 第4四半期 H14.4.1～ H14.6.30	今年度 第1四半期 H14.7.1～ H14.9.30	今年度 第2四半期 H14.10.1～ H14.12.31	今年度 第3四半期 H15.1.1～ H15.3.31	今年度 累計 H14.7.1～ H15.3.31	前年 同期比 (差額)	前年度 累計 H13.7.1～ H14.3.31
本社	8,072	11,702	9,960	8,936	9,023	27,920	+ 4,239	32,159
鬼怒川店	894	463	6,413	830	893	8,136	533	8,669
那須店	503	331	4,996	448	311	4,859	727	5,586
秋田六郷店	1,628	1,283	1,089	1,434	1,088	1,432	287	1,145
山中湖店	421	259	5,668	566	2,037	8,272	+ 6,245	2,027
沼田店	1,659	17	2,177	1,226	1,829	5,233	+ 3,680	1,553
水戸大洗店	900	634	3,422	724	1,049	3,747	+ 8,916	5,169
北上店	187	102	2,251	2,545	1,987	6,783	6,596	187
合計	7,311	12,685	11,554	11,465	5,977	5,889	+ 14,935	20,824

(4) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 前年度 第3四半期末 H14.3.31	前年度 第4四半期末 H14.6.30	今年度 第1四半期末 H14.9.30	今年度 第2四半期末 H14.12.31	今年度 第3四半期末 H15.3.31
(資産の部)					
流動資産					
現金預金	7,029	15,400	16,325	10,726	6,796
その他	135	1,069	1,578	963	1,462
流動資産合計	7,165	16,470	17,903	11,689	8,258
固定資産					
有形固定資産合計	411,622	405,407	406,726	401,410	394,768
無形固定資産合計	3,423	2,964	2,804	2,644	2,483
投資等	13,915	13,798	13,689	13,590	13,481
固定資産合計	428,961	422,170	423,220	417,645	410,734
繰延資産	1,268	369	277	184	92
資産合計	437,395	439,010	441,401	429,520	419,085
(負債の部)					
流動負債	22,936	31,910	30,587	35,311	39,310
固定負債	238,518	244,775	236,934	231,795	223,330
負債合計	261,453	276,685	267,522	267,107	262,641
(資本の部)					
資本金	281,000	281,000	281,000	281,000	281,000
(資本準備金)	19,200	19,200	-	-	-
(剰余金)					
(当期末処分損益)	124,258	137,875	-	-	-
(うち当四半期損益)	(20,984)	(34,601)	(-)	(-)	(-)
資本剰余金					
資本準備金	-	-	19,200	19,200	19,200
利益剰余金					
四半期(当期)未処分損益	-	-	126,321	137,787	143,764
(うち四半期(当期)損益)	(-)	(-)	(11,554)	(11,465)	(5,889)
資本合計	175,938	162,324	173,878	162,412	156,443
負債資本合計	437,395	439,010	441,401	429,520	419,085
発行済株式総数	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株
1株当たり純資産	31,305円	28,883円	30,939円	28,899円	27,837円

(5) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き、正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第4 経理の状況 重要な会計方針」をご参照ください。事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

固定資産の減価償却の方法	各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
繰延資産の処理方法	各四半期末の繰延資産償却費は、年間償却見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
経過勘定項目	未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間費用として処理しております。
税金の計上基準	法人税、住民税および事業税は、既支払額を計上しております。
消費税等の会計処理	消費税等については従来税込処理によっておりましたが、当期から税抜処理に変更しております。仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しております。

なお、当該四半期の貸借対照表および損益計算書については、公認会計士の監査を受けておりません。

第9期第3四半期（平成15年1月1日～平成15年3月31日）の業績の概況

(1) 本社

新規出店の成約が遅れ企画調整費を計上できないため、第3四半期までの累計で売上高は前年同期に比べ大きく減少しておりますが、人件費を含む経費の削減と新株発行償却費の大幅減により経常損失は27,920千円と前年同期に比べ4,239千円の改善となっております。

(2) 鬼怒川店

第3四半期は好調に推移し、第3四半期累計（7～3月）で、稼働率（56.5→60.8%）売上高（+3.4%）と前年同期を上回りました。ただし、第2四半期の不調の影響で経常利益（8,669→8,136千円）は微減（-533千円）となっております。ただし、前年度は第4四半期（4～6月）が低調だったことから、通期では前年度を上回り、売上高・経常利益とも過去最高を実現したいと計画しております。

(3) 那須店

オープン（2000.4）3年目に入り利用者が伸び悩んでおり、第3四半期累計で、稼働率が4.0ポイント（57.6→53.6%）売上高（-1.3%）および経常利益（-727千円）も前年同期を下回る結果となっております。リピーターの増加と広告宣伝による利用者の減少が顕著なため、「鬼怒川店」とあわせ、パブリシティや広告掲載などを行い新規顧客の開拓を図りたいと考えております。

(4) 秋田六郷店

第3四半期に入り稼働率が回復してきましたが、上半期の不調により、第3四半期までの累計で、稼働率（45.2→45.1%）売上高（-2.2%）経常利益（-287千円）とも前年同期に比べ微減となっております。第4四半期には業績を大きく伸ばし、店舗単独での通期黒字化を達成したいと考えております。

(5) 山中湖店

オープン（2001.7）2年目に入り大幅に利用者が増えており、第3四半期までの累計で、稼働率（47.8→70.9%）売上高（+54.9%）経常利益（+6,245千円）とも大幅に前年同期を上回っております。

(6) 沼田店

「山中湖店」同様、きわめて好調で、第3四半期までの累計で、稼働率（68.1→82.3%）売上高（+30.2%）経常利益（+3,680千円）とも大幅に前年同期を上回っております。

(7) 水戸大洗店

オープン（2001.10）2年目に入り急激に利用者が増えており、第3四半期までの累計で、稼働率（34.7→64.0%）売上高（+204.3%）経常利益（+8,916千円）とも大幅に前年同期を上回っております。

(8) 北上店

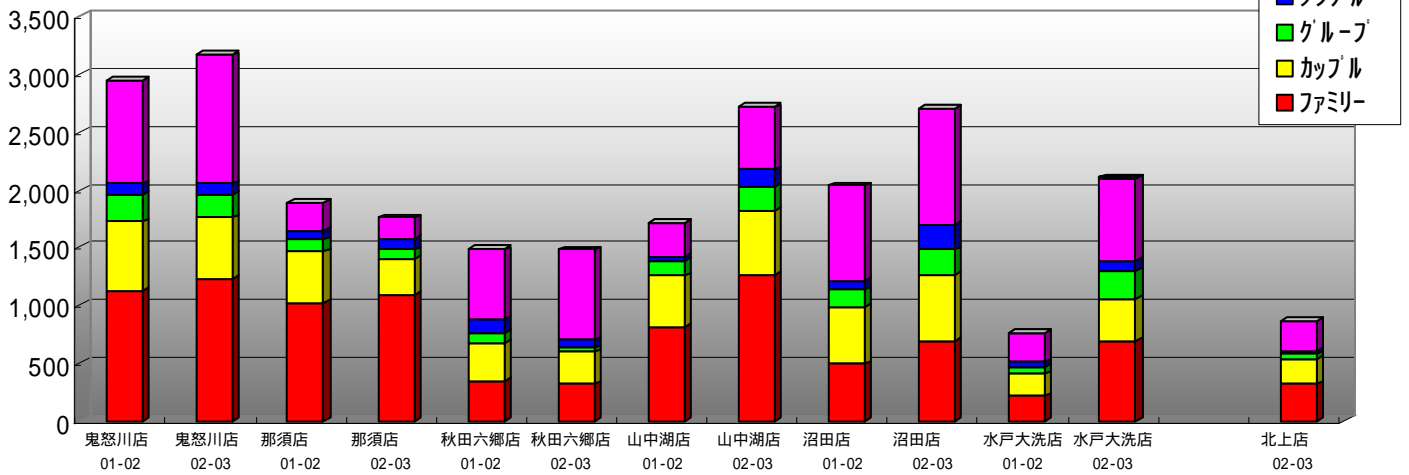
オープン（2002.7）直後であった上半期は不調でしたが、周辺PRなどの効果によってリピーターが増え、2月以降ようやく利用者が増えております。第3四半期までの累計では、稼働率（28.3%）経常利益（6,596千円）となっておりますが、今後着実に稼働率を上昇させることにより、来年度は店舗単独での黒字化を達成したいと考えております。

(9) 全社

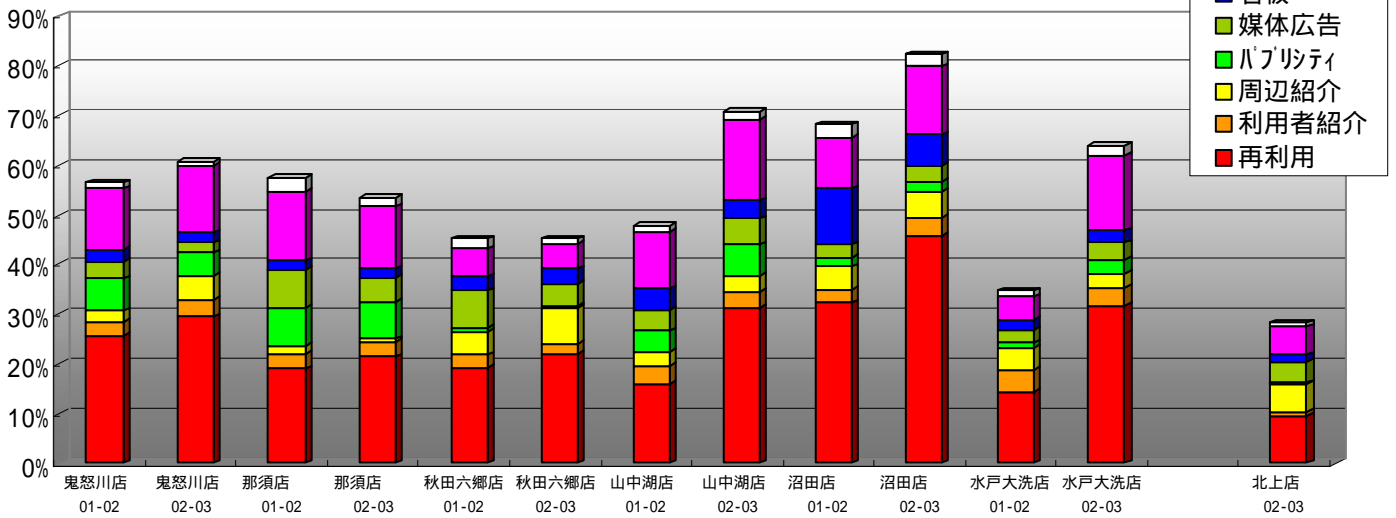
「鬼怒川店」「那須店」「秋田六郷店」の微減と「北上店」の不調を、「山中湖店」「沼田店」「水戸大洗店」の好調がカバーする状況となっております。

この結果、第3四半期までの累計で、売上高139,411千円（前年同期比+32.2%、消費税調整後）営業利益1,967千円（前年同期は14,514千円）当期利益5,889千円（前年同期は20,984千円）となり、前年同期に比べ大幅に改善され、着実に黒字転換に近づいております。

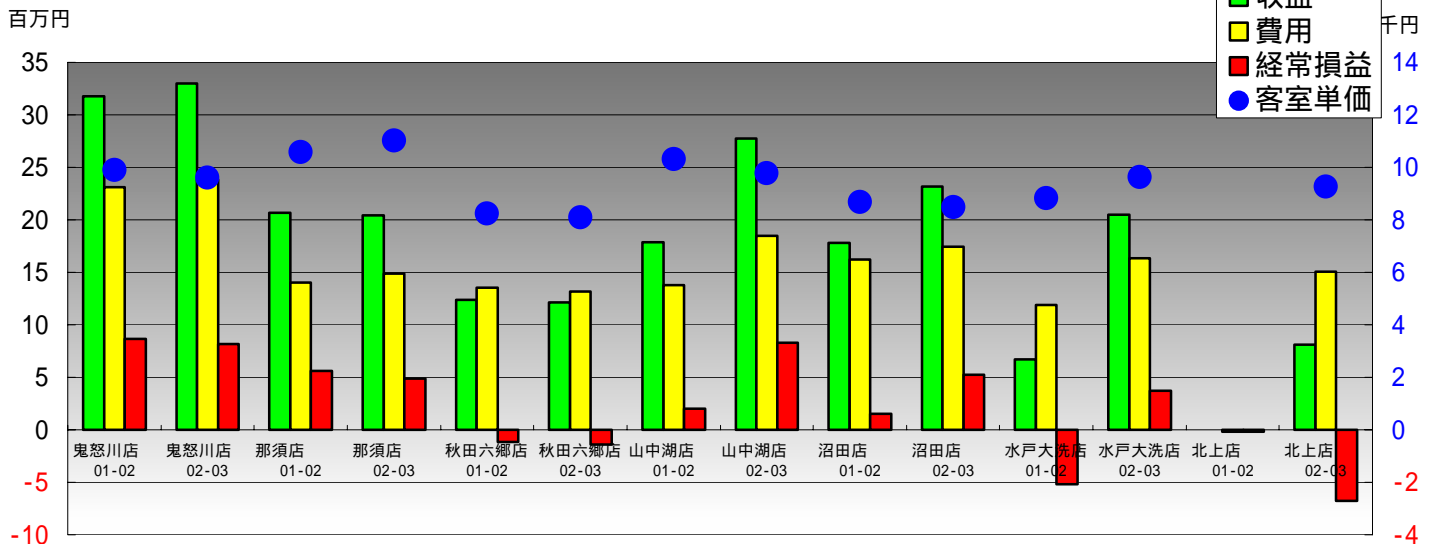
利用客室数(構成別) 実績比較(2002.7/1-2003.3/31)



客室稼働率(経路別) 実績比較(2002.7/1-2003.3/31)



収益・費用・経常損益・客室単価 実績比較(2002.7/1-2003.3/31)



収益・費用・客室単価については、消費税税込みの金額で表示しております。

第9期通期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 前期実績 (消費税込) H13.7.1～ H14.6.30	当期予想(消費税別)				通期予想 H14.7.1～ H15.6.30
		第1四半期 実績 H14.7.1-9.30	第2四半期 実績 H14.10.1-12.31	第3四半期 実績 H15.1.1-3.31	第4四半期 予想 H15.4.1-6.30	
売上高	143,738	61,739	38,001	39,670	43,202	182,612
営業損益	24,655	13,288	10,052	5,203	3,300	5,267
経常損益	33,509	11,554	11,465	5,977	3,900	9,788

「山中湖店」「沼田店」「水戸大洗店」の業績が当初の予想以上に好調で、店舗の売上高は大幅に伸びておりますが、新規出店の停滞と「北上店」の低迷などにより、今期における黒字転換の実現は難しい見通しとなっております。ただし、交渉中の新規出店案件の早期成約や、広告宣伝活動の強化などにより各店舗の稼働率をさらに高め、可能な限り損益均衡に近づけるよう最大限の経営努力を行う所存です。なお、基本的な推移としては、損益状況は前期に比べ大幅に改善され、黒字体質に近づきつつある状況です。

資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	第8期 第4四半期 H14.4.1～6.30	第9期 第1四半期 H14.7.1～9.30	第9期 第2四半期 H14.10.1～12.31	第9期 第3四半期 H15.1.1～3.31
現金および預金の増減額		+8,371	+924	5,598	3,930
現金および預金の期首残高		7,029	15,400	16,325	10,726
現金および預金の四半期末残高		15,400	16,325	10,726	6,796

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	第8期 第4四半期 H14.4.1～6.30	第9期 第1四半期 H14.7.1～9.30	第9期 第2四半期 H14.10.1～12.31	第9期 第3四半期 H15.1.1～3.31
短期借入金の増減額		-	-	-	+5,000
短期借入金の期首残高		-	-	-	-
短期借入金の四半期末残高		-	-	-	5,000

短期借入金の増加は、甲斐 真(代表取締役)からの運転資金借入れ5,000千円によるものです。

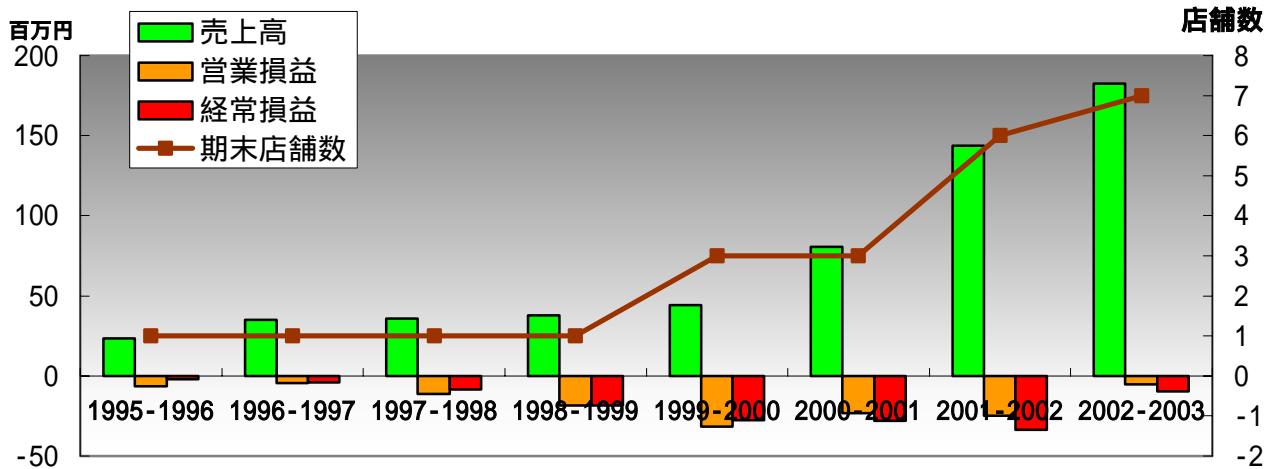
(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております。1年以内返済予定額を含みます。

なお、1年以内返済予定額については、貸借対照表上では流動負債として表示しております。)

科目	期別	第8期 第4四半期 H14.4.1～6.30	第9期 第1四半期 H14.7.1～9.30	第9期 第2四半期 H14.10.1～12.31	第9期 第3四半期 H15.1.1～3.31
長期借入金の増減額		+13,526	7,029	2,237	7,653
長期借入金の期首残高		252,355	265,881	258,852	256,615
長期借入金の四半期末残高		265,881	258,852	256,615	248,962

今後の事業展開と出店計画について

年度別 業績推移



新規出店に関する全般的な状況

現時点で「北上店」に続く新規出店が決まっておりません。店舗数が10店舗程度に増えれば安定して黒字を計上し、さらに利益を拡大していく条件が整うため、早期に出店計画を確定することは最重要な戦略的課題です。その実現のため、遊休地オーナーに向けた「土地活用」に加え、資産家向けに土地の取得を含めた「資産運用」の提案などを積極的に行っております。後者については、不動産投資ファンドを組んでシステム化する案も検討しております。

具体的な出店交渉案件

現在、成約の可能性が高い案件が神奈川県、新潟県、石川県に各1件あり、今期中に複数の出店契約を完了させたいと考えております。これ以外に埼玉県、千葉県、静岡県に具体的な交渉案件があります。なお、新規出店が決まった時点で、各方面にニュースをリリースする予定で、パブリシティに活用する計画です。

本社オフィスへの設計スタッフの常駐

引き続き遊休地活用の引き合いが多く、新規出店の具体化も予想されることから、4月下旬より、これまで建物の設計を委託していた社外の設計スタッフに本社オフィス内に常駐いただくことになりました。これによって、問い合わせに対する機動的な対応と設計作業の時間短縮、および建築コスト節減の検討などが効率的に行える見通しです。

ネットを活用した効率的な広告宣伝活動

Yahooへの全店舗ディレクトリー登録、LooksMart経由での複数検索サイトへの全店登録が完了しました。あわせてアドワーズ広告も実施しており、確実にホームページへのアクセス数が増大しております。また、4月下旬からは半年にわたって女性向けポータルサイト「ウーマン・チョコキ」へ各店舗の宿泊レポートが掲載される予定で、こうしたネット上での露出度アップにより、効率的な集客に努める計画です。

福利厚生施設代行サービス会社との提携

昨年11月より「旅の窓口」からの予約受付を開始しており、すでに一定数の実績を上げておりますが、今春からは福利厚生施設代行サービス「ベネフィット・ワン」への登録も始まる予定で、こうしたチャンネルを通じて「ファミリーロッジ旅籠屋」の知名度が上がることを期待しております。

以上